

CADEWA Smart V2.0








～レイヤー編～

目次

CADEWA Smartのレイヤーを操作しましょう

1. 入力レイヤーを指定しましょう
 - ・ レイヤーとは
 - ・ 図面を開く
 - ・ 入力レイヤーの指定
2. レイヤーを分解表示して確認しましょう
 - ・ レイヤー分解
 - ・ オブジェクトが存在するレイヤーのみ表示する
 - ・ 表示・非表示状態の切替
 - ・ クイック設定への保存
 - ・ 入力レイヤーかつ他のレイヤーは非表示にして終了
 - ・ クイック設定の呼出し
 - ・ レイヤー移動
3. レイヤーの一覧を確認しましょう
 - ・ レイヤー(一覧)
 - ・ フォルダーとレイヤーの作成
 - ・ 3DCG透過度の変更
 - ・ 保存したクイック設定の読込
4. レイヤー表示状態をレイヤーシートへ保存しましょう
 - ・ レイヤーシート管理
 - ・ レイヤーシートの切替
 - ・ 非カレントレイヤーシートの一時表示

マウスの使い方

- | | |
|---|-----------------------------------|
|  | …指示位置をクリック(左クリック)します。 |
|  | …指示位置をマウス右ボタンでクリックします。 |
|  | …指示位置をダブルクリック(左2回クリック)します。 |
|  | …マウスを表示位置に近づけます。 |
|  | …[Ctrl]キーを押しながらクリック(左クリック)します。 |
|  | …[Shift]キーを押しながらクリック(左クリック)します。 |
|  | …マウス右ボタンをクリックしたまま移動します。 |
- 右ドラッグマウス移動

1 入力レイヤーを指定しましょう

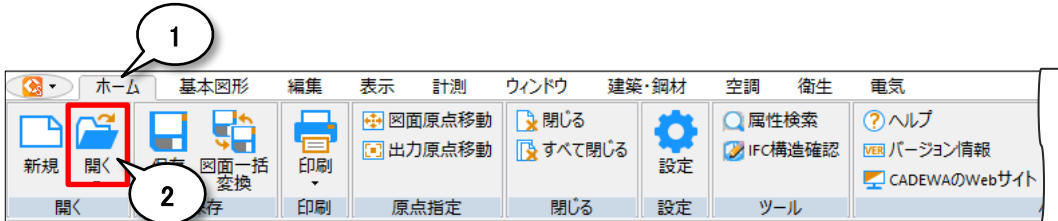
➤ レイヤーとは

1枚の図面を何枚かの透明なシートに分けて作画できる機能です。レイヤーを書き分けることで、表示・検出、非検出の切替を行うことができ、効率的な編集や設備毎の表示などに便利です。

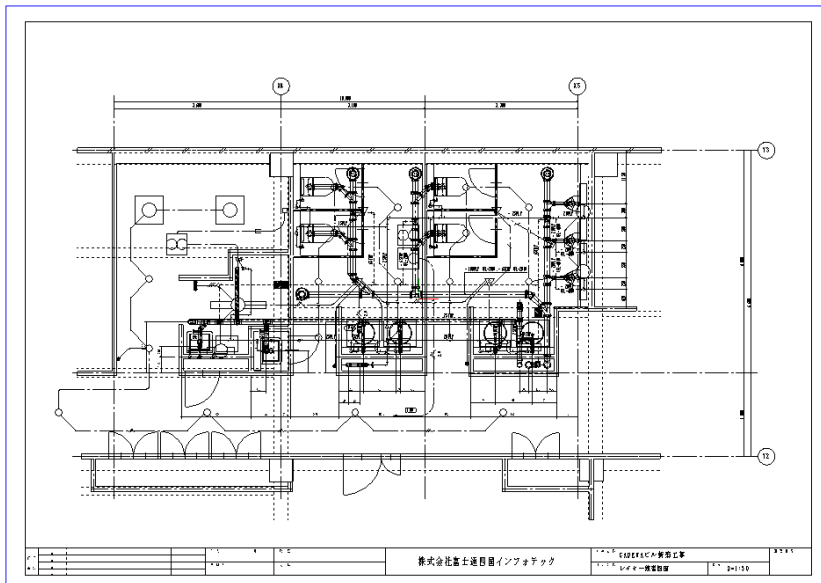
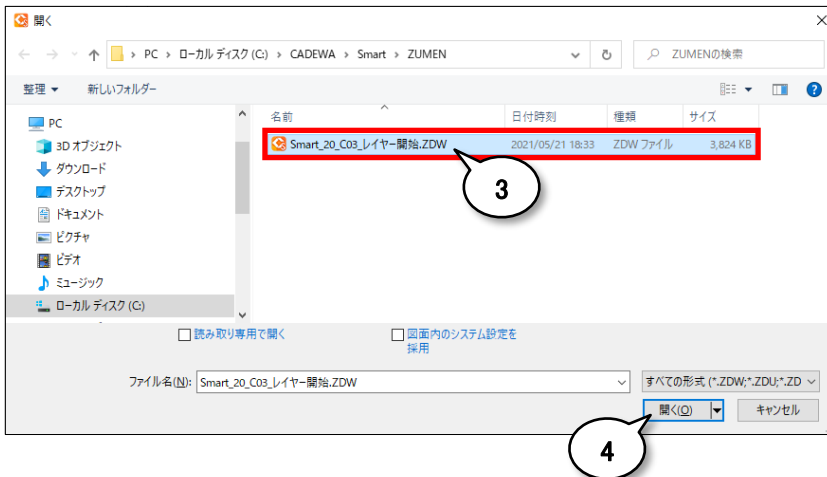
➤ 図面を開く

使用する図面は[Smart_20_C03_レイヤー開始.ZDW]

リボンの「ホーム」から「開く」をクリックします。

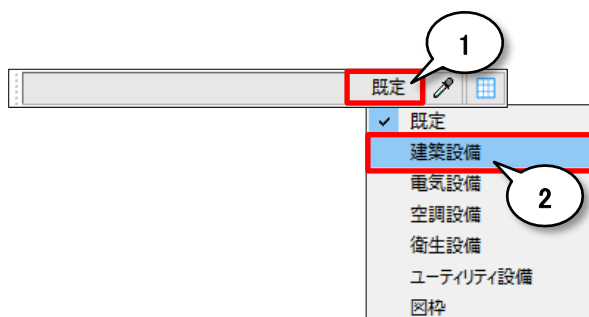


ファイルを選択し、「開く」をクリックします。

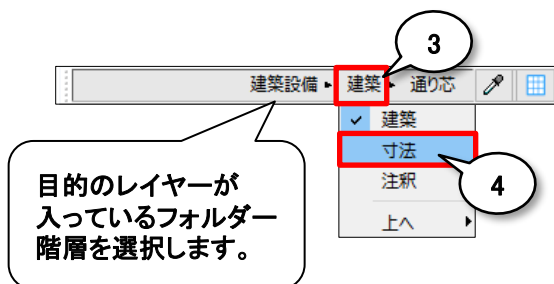


➤ 入力レイヤーの指定

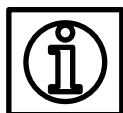
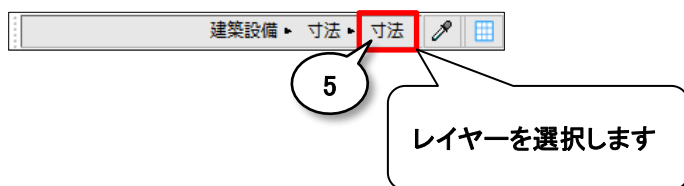
「レイヤー」パネルから入力レイヤーを指定します。
「既定」レイヤーをクリックし、「建築設備」フォルダーを選択します。



「建築」-「寸法」フォルダーをクリックします。



「寸法」レイヤーをクリックします。



設備部材の入力レイヤーについて

汎用オブジェクトはカレントの入力レイヤーに作画されますが、設備部材は部材によって入力レイヤーが切り替わります。

空調衛生や電気の器具は、それぞれの器具ごとに作画レイヤーが割り当てられており、器具を選択するとその器具に割り当てられたレイヤーが自動で入力レイヤーにセットされます。

建築部材や配管、ダクト、ケーブルラックなどは、選択したプリセットに作画レイヤーが割り当てられており、作画時に選択したプリセットに割り当てられた作画レイヤーが入力レイヤーにセットされます。



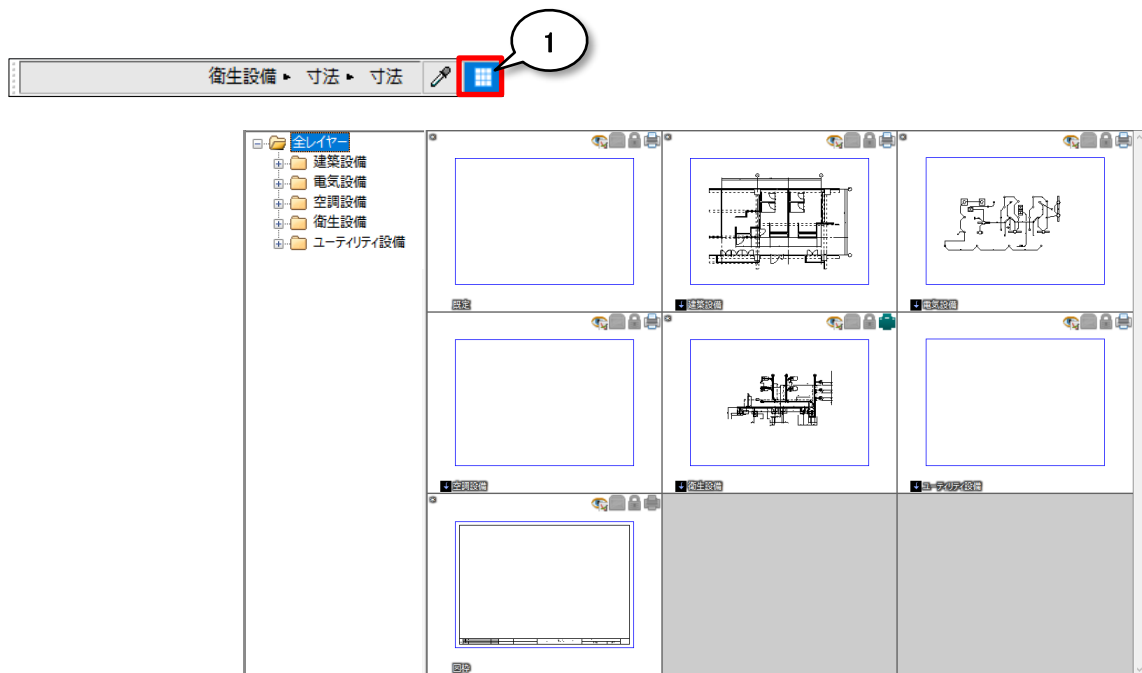
スポイトをクリックしオブジェクトを指示すると、指示したオブジェクトのレイヤーを取り込み、入力レイヤーに指定することができます。



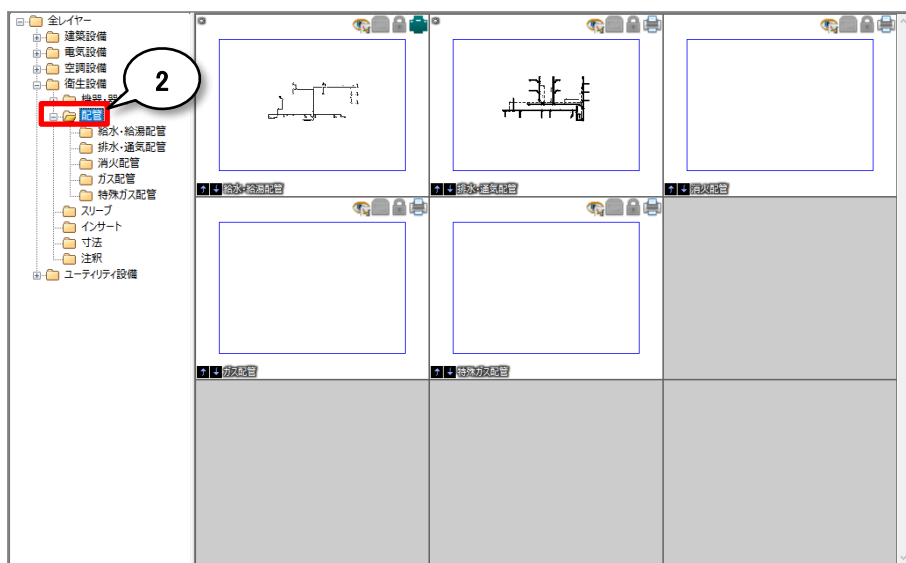
2. レイヤーを分解表示して確認しましょう

➤ レイヤー分解

レイヤーパネルの「レイヤー分解」ボタンをクリックします。



分解表示したい階層を指定します。
「衛生設備」-「配管」フォルダーをクリックします。

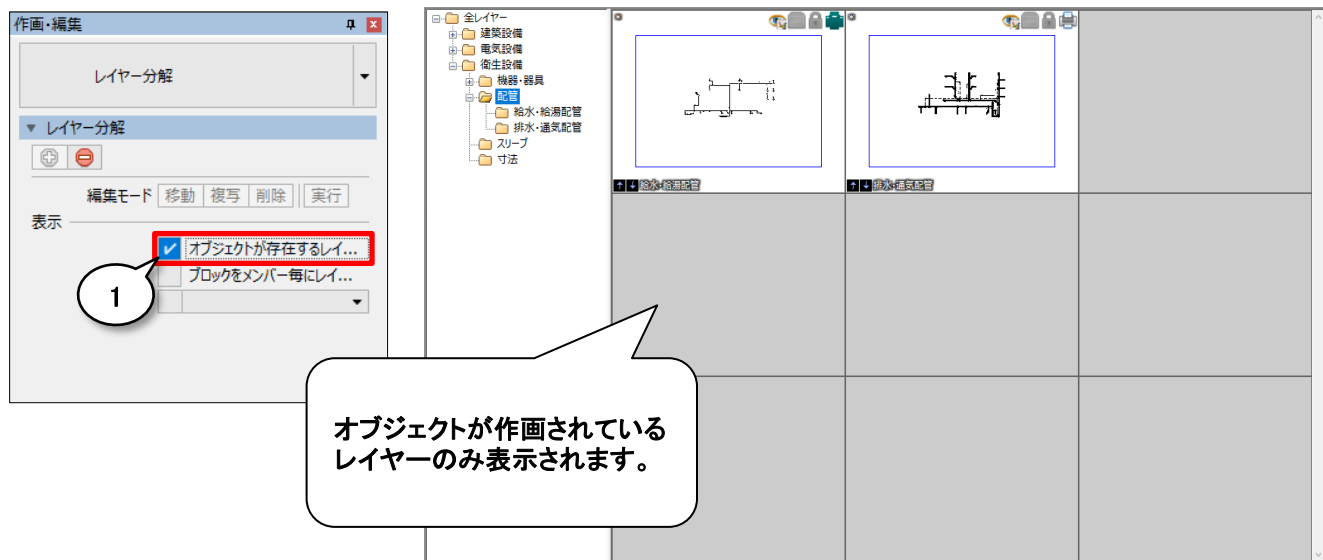


レイヤー階層

CADEWA Smartはあらかじめ設備毎のレイヤーフォルダーを用意しています。
階層の切り替えは、左のツリー表示からフォルダーを選択するか、右のフォルダ枠をダブルクリックして表示階層を変更します。

➤ オブジェクトが存在するレイヤーのみ表示する

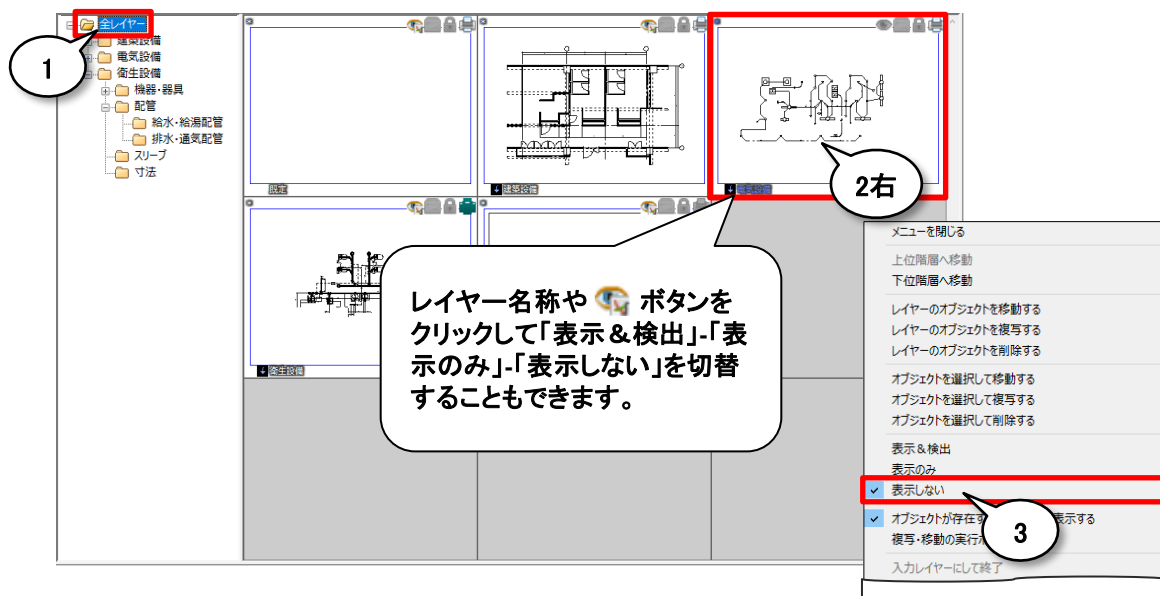
「オブジェクトが存在するレイヤーのみ表示する」をONにします。



➤ 表示・非表示状態の切替

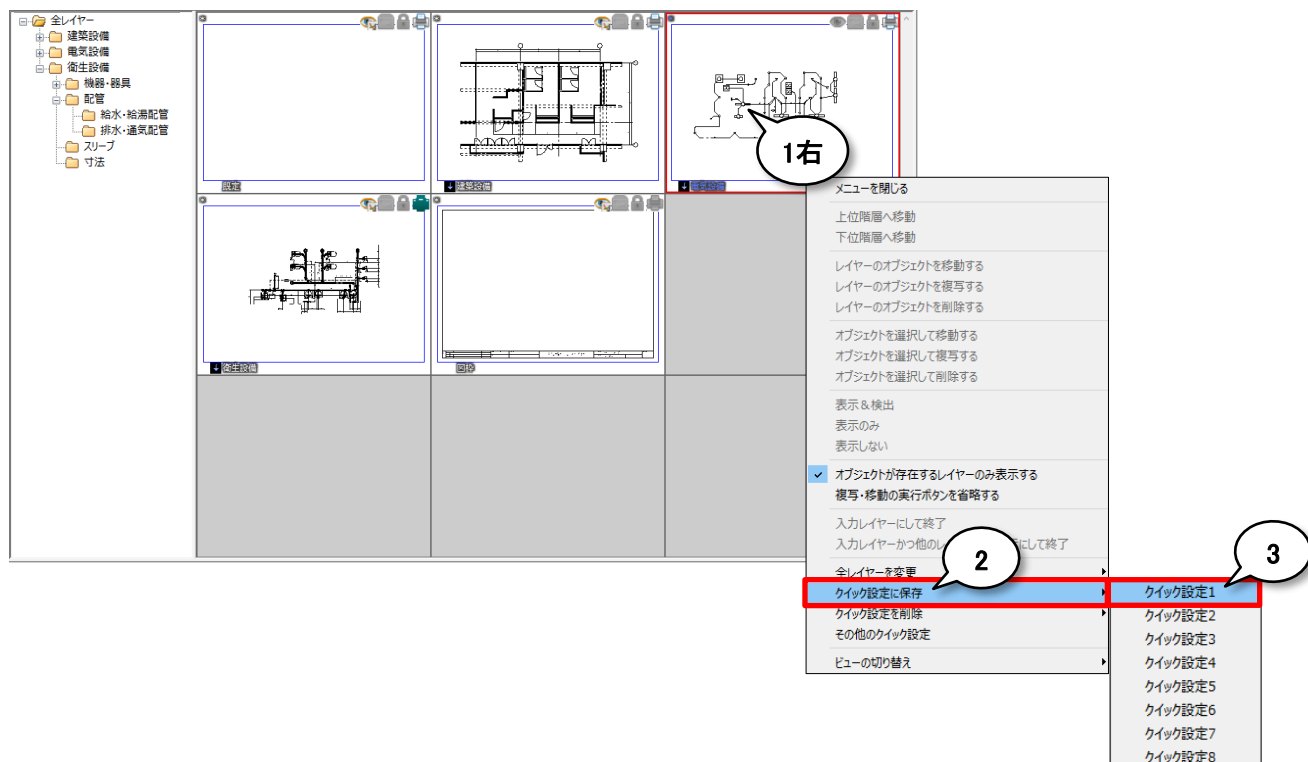
レイヤーの表示検出状態を変更します。

「全レイヤー」フォルダーをクリックし、「電気設備」フォルダー上で右クリックします。「表示しない」をONにします。



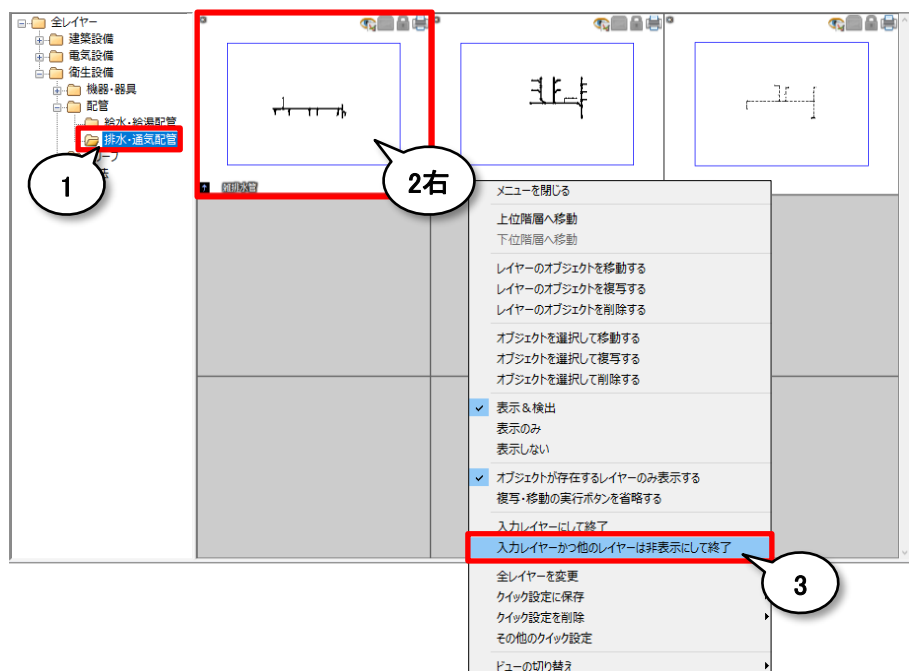
➤ クイック設定への保存

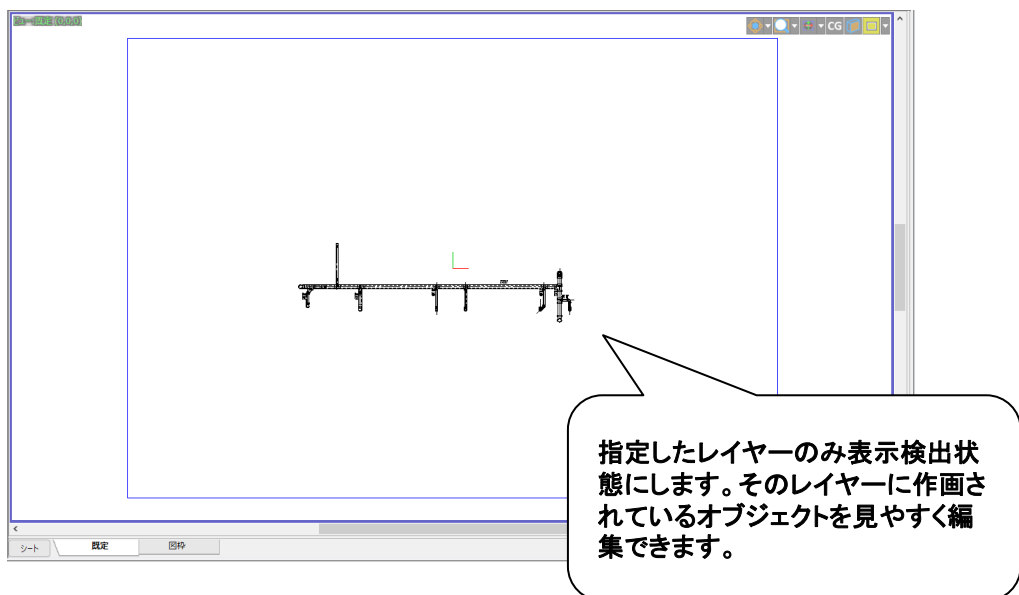
現在の表示検出状態をクイック設定に保存します。
右クリックし、「クイック設定に保存」から「クイック設定1」をクリックします。



➤ 入力レイヤーかつ他のレイヤーは非表示にして終了

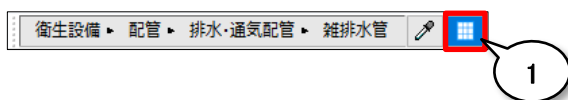
指定したレイヤーを入力レイヤーに設定し、他のレイヤーは非表示状態に切り替えます。
「衛生設備」-「配管」-「排水・通気配管」フォルダーをクリックします。「雑排水管」レイヤー上で右クリックし、「入力レイヤーかつ他のレイヤーは非表示にして終了」をクリックします。



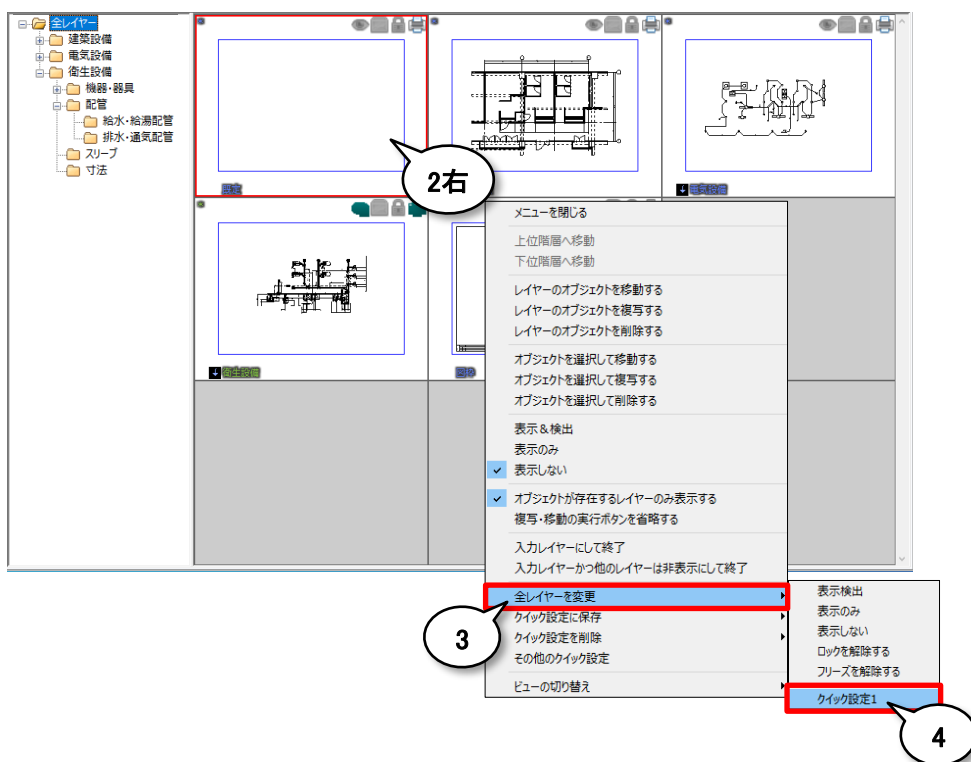


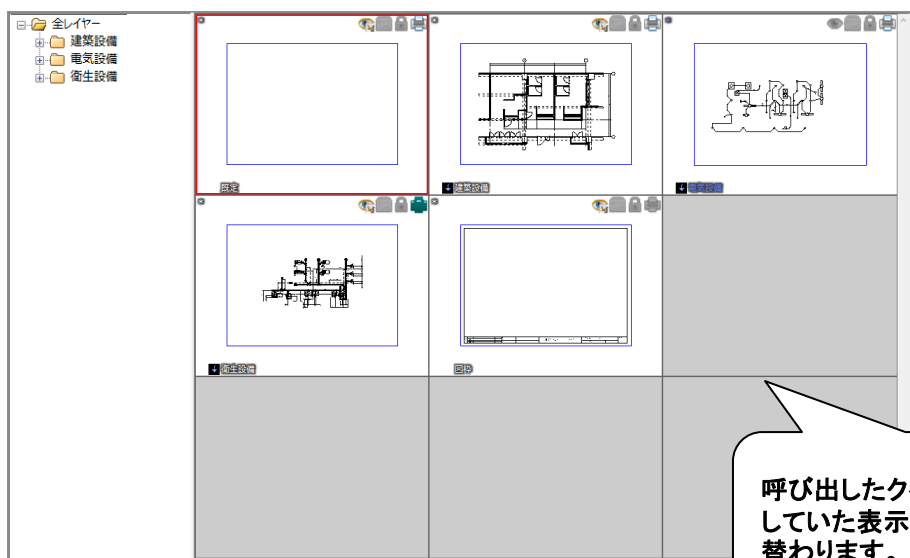
➤ クイック設定の呼出し

保存したクイック設定を呼び出します。
レイヤーパネルから「レイヤー分解」をONにします。



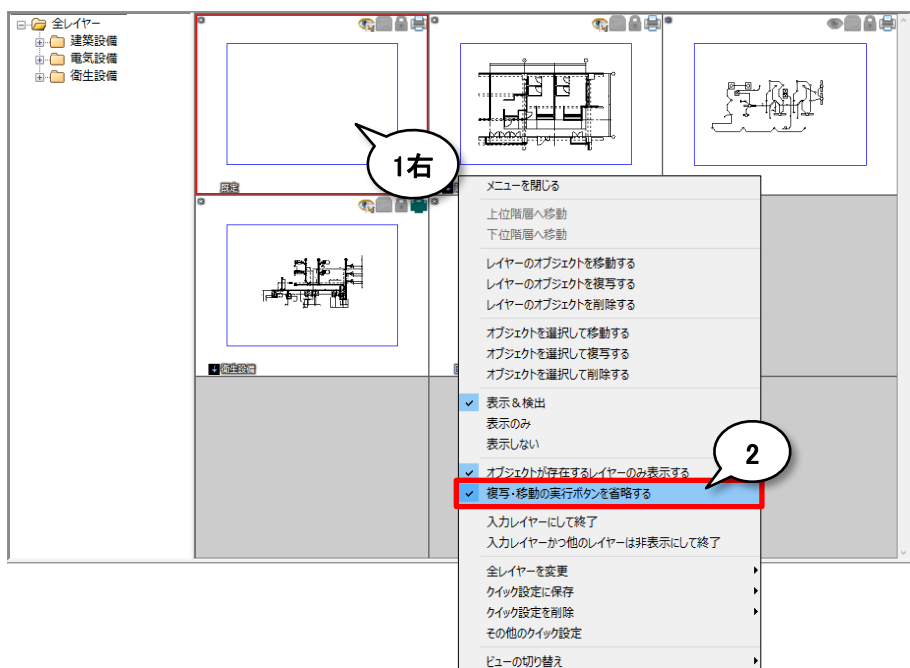
右クリックし、「全レイヤーを変更」から「クイック設定1」をクリックします。



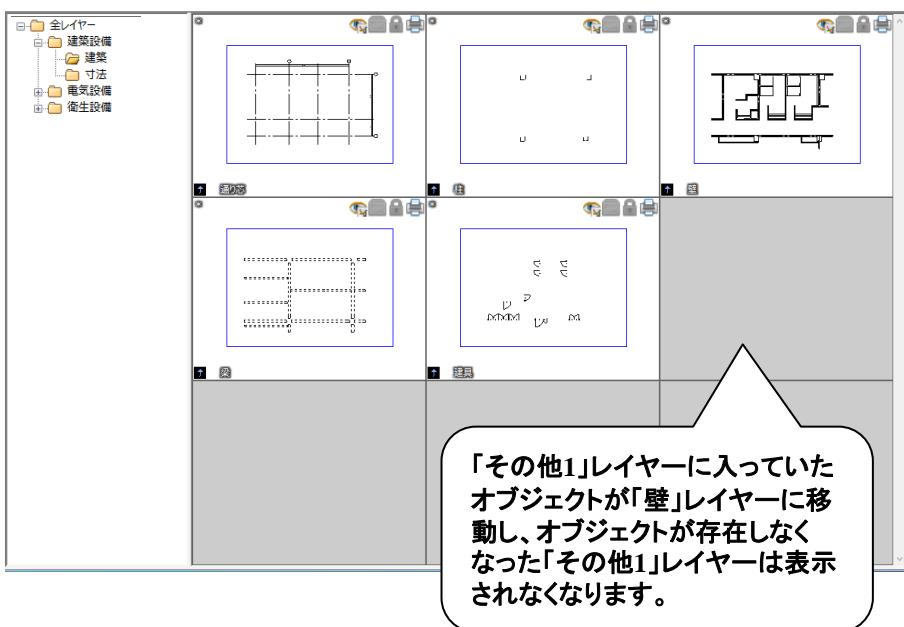
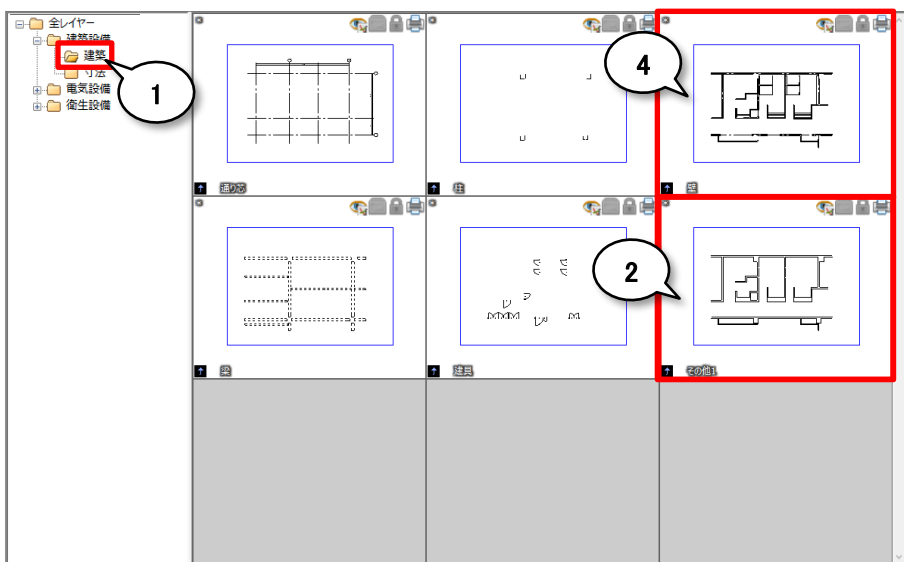
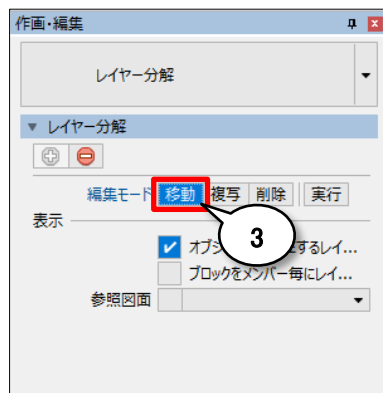


➤ レイヤー移動

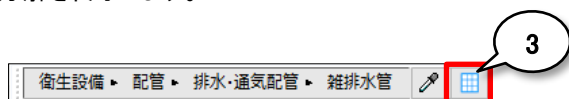
レイヤー内のオブジェクトを別レイヤーへ移動します。
右クリックし、「複写・移動の実行ボタンを省略する」をONにします。



「建築設備」-「建築」フォルダーから「その他1」レイヤーをクリックします。編集モード「移動」をクリックし、移動先の「建築設備」-「建築」-「壁」レイヤーをクリックします。



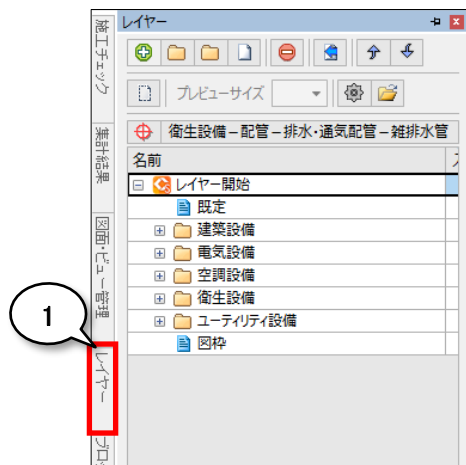
レイヤー分解を終了します。



3. レイヤーの一覧を確認しましょう

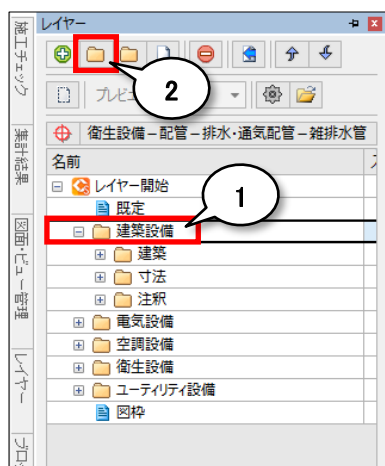
➤ レイヤー（一覧）

レイヤーを名称一覧で確認します。
「レイヤー」タブをクリックします。

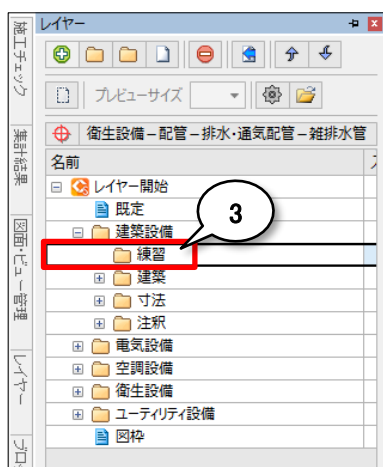


➤ フォルダーとレイヤーの作成

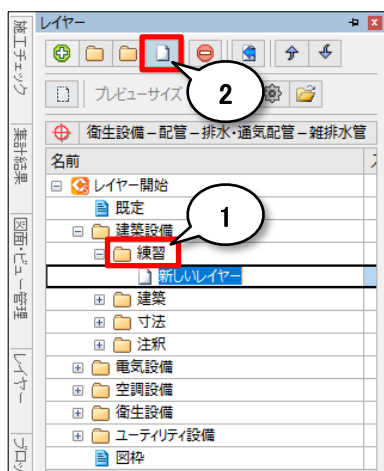
レイヤーのフォルダーを作成します。
「建築設備」フォルダーをクリックし、「子フォルダー」ボタンをクリックします。



フォルダー名称「練習」を入力します。

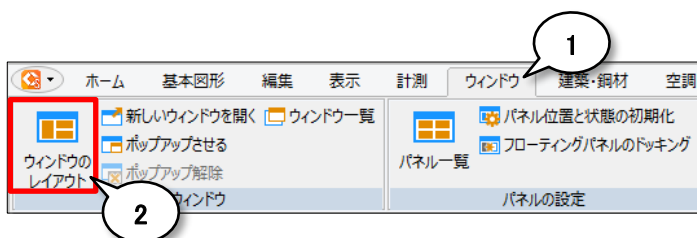


新しいレイヤーを作成します。
「建築設備」-「練習」フォルダーをクリックし、「レイヤー」ボタンをクリックします。

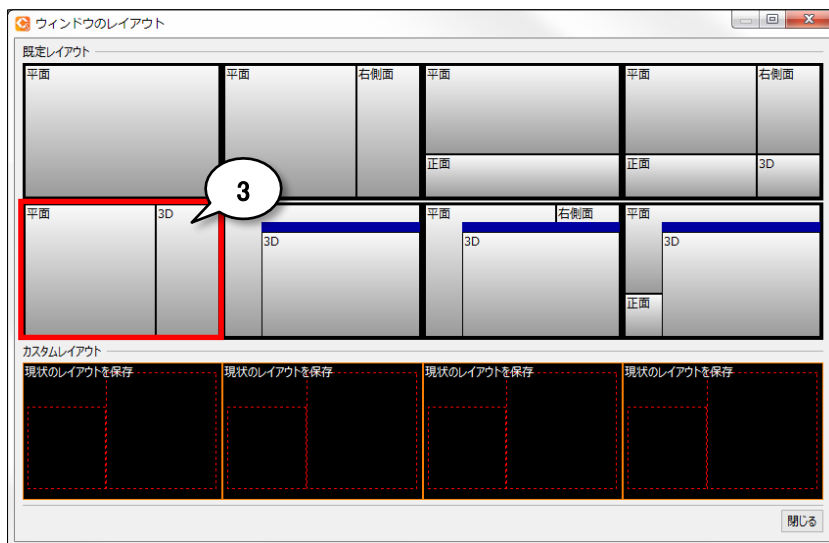


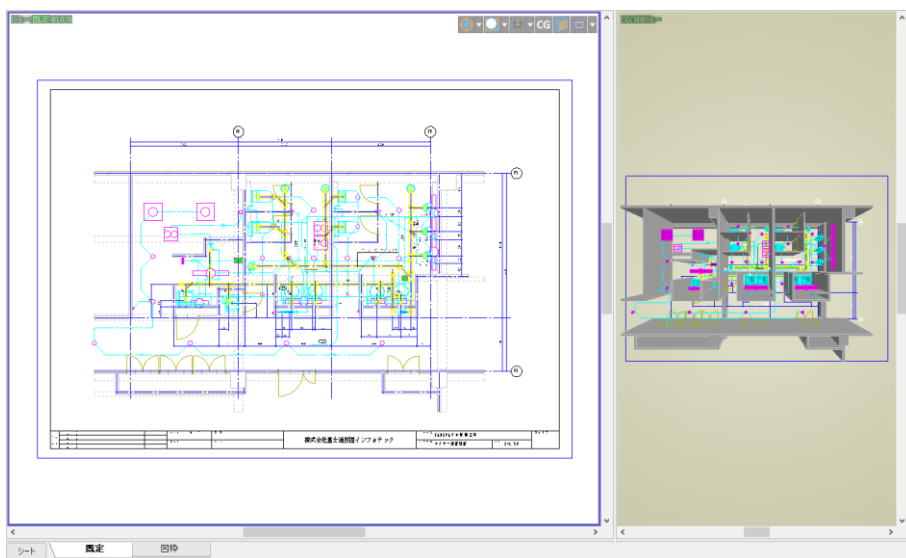
➤ 3DCG透過度の変更

オブジェクトの3Dの透過度を変更します。
リボン「ウィンドウ」から「ウィンドウのレイアウト」をクリックします。

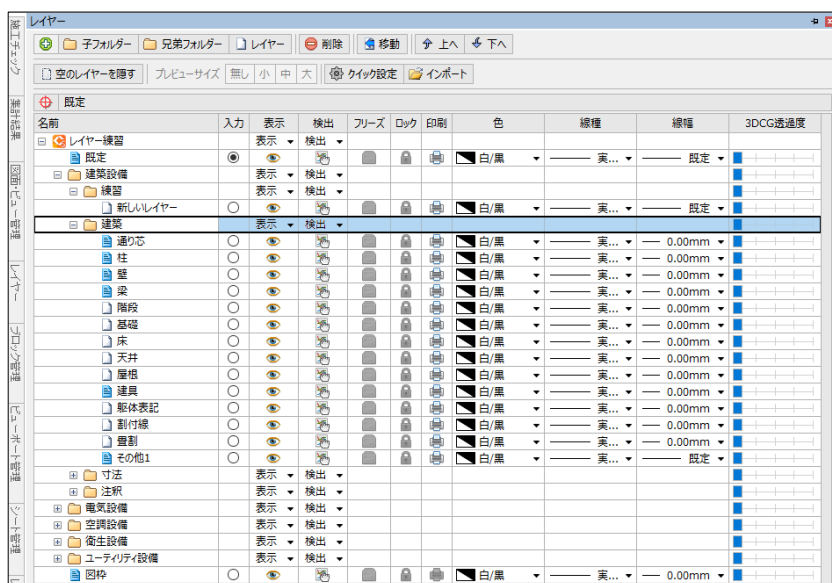
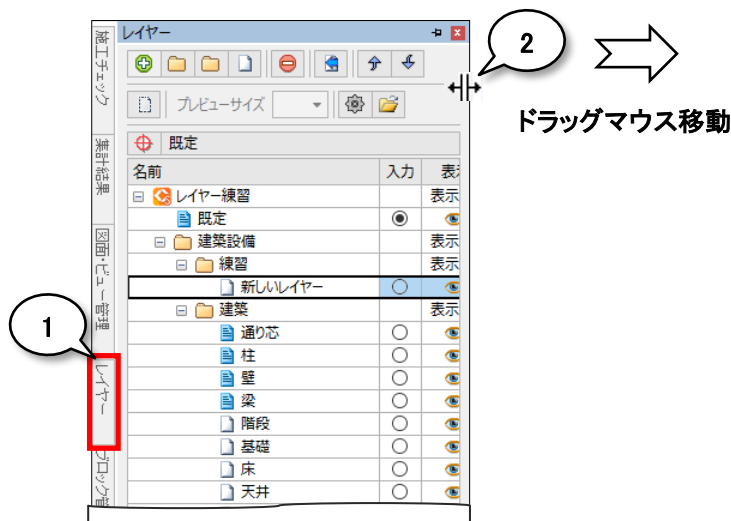


レイアウト「平面、3D」を選択します。

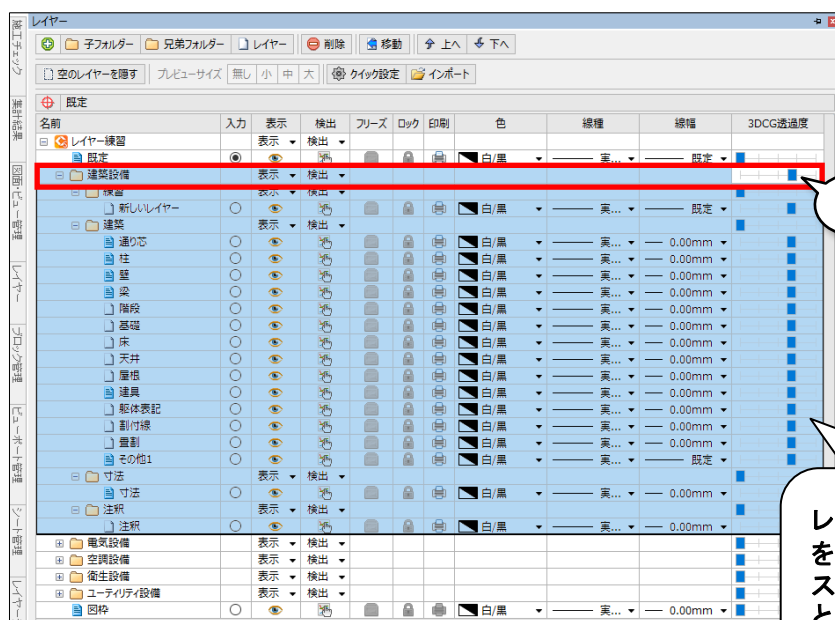




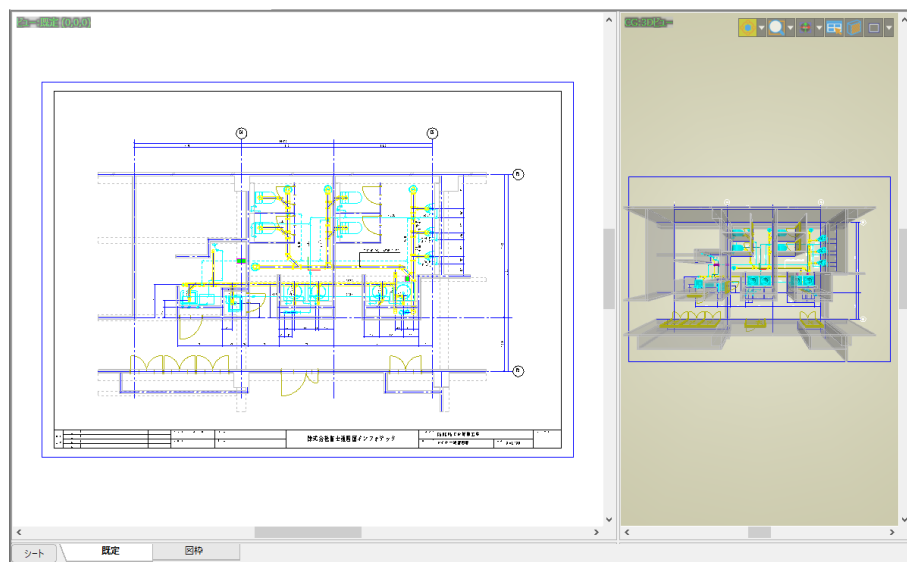
「レイヤー」タブをクリックし、パネル右側の矢印をクリックして広げて表示します。



「建築設備」フォルダーの「3DCG透過度」のスライダーを移動します。



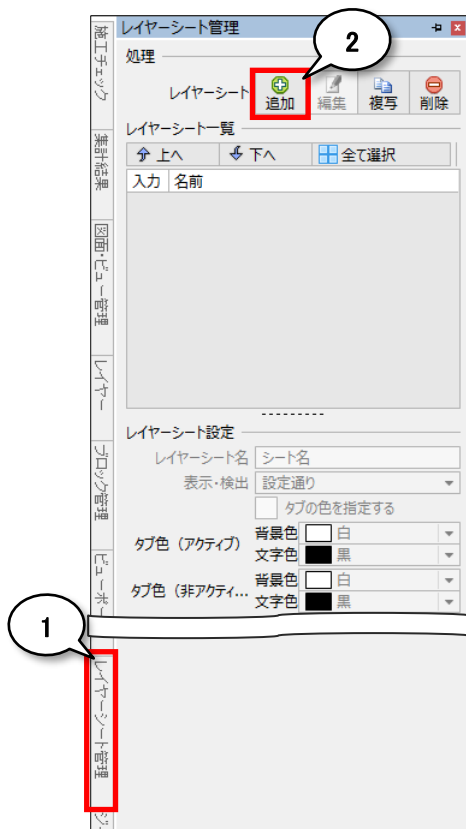
レイヤー毎に3DCGの透過度を設定することができます。スライダーを右側に移動すると、透過されてCG上の表示が薄くなります。



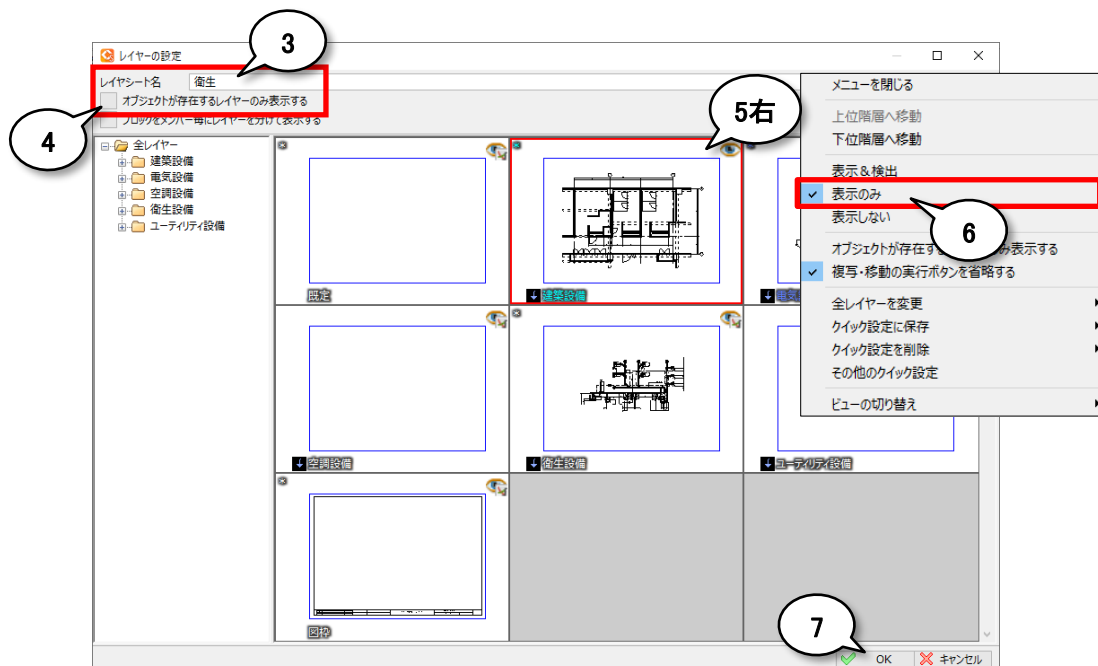
4. レイヤー表示状態をレイヤーシートへ保存しましょう

➤ レイヤーシート管理

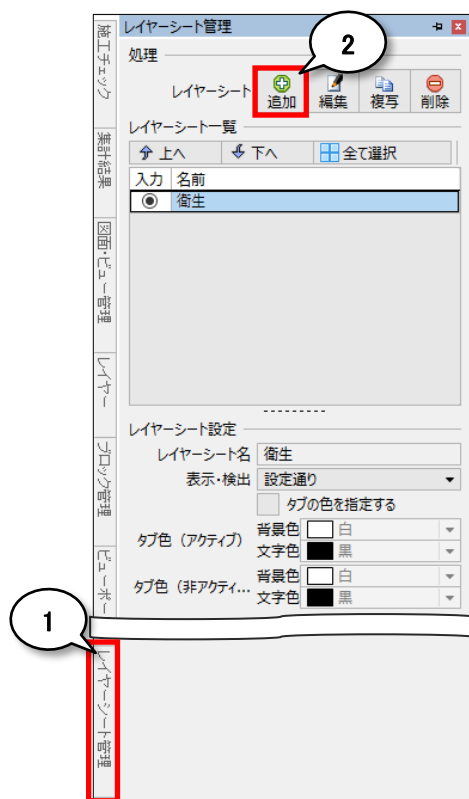
よく利用するレイヤーの表示検出状態をレイヤーシート管理へ登録します。
「レイヤーシート管理」タブからレイヤーシート「追加」をクリックします。



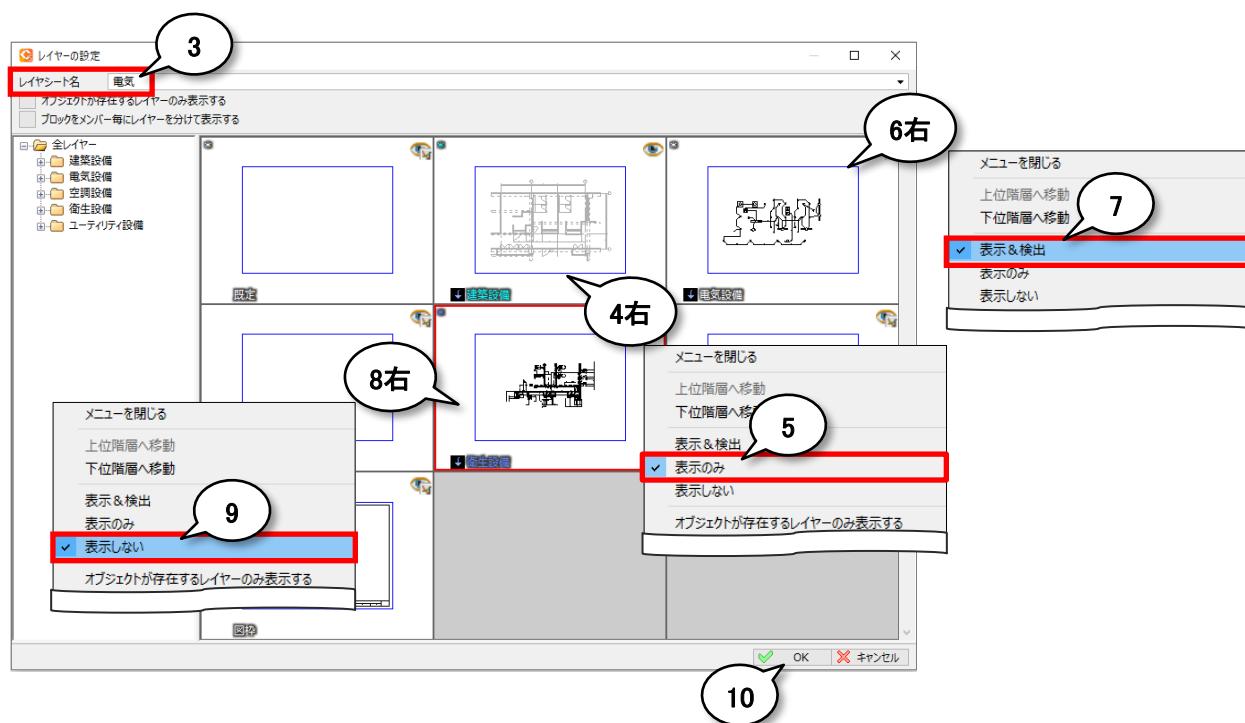
衛生用の設定を登録します。
レイヤーシート名「衛生」を入力し、「オブジェクトが存在するレイヤーのみ表示する」をOFFにします。建築設備を「表示のみ」へ変更し、OKします。



電気用の設定を登録します。
「レイヤーシート管理」タブからレイヤーシート「追加」をクリックします。

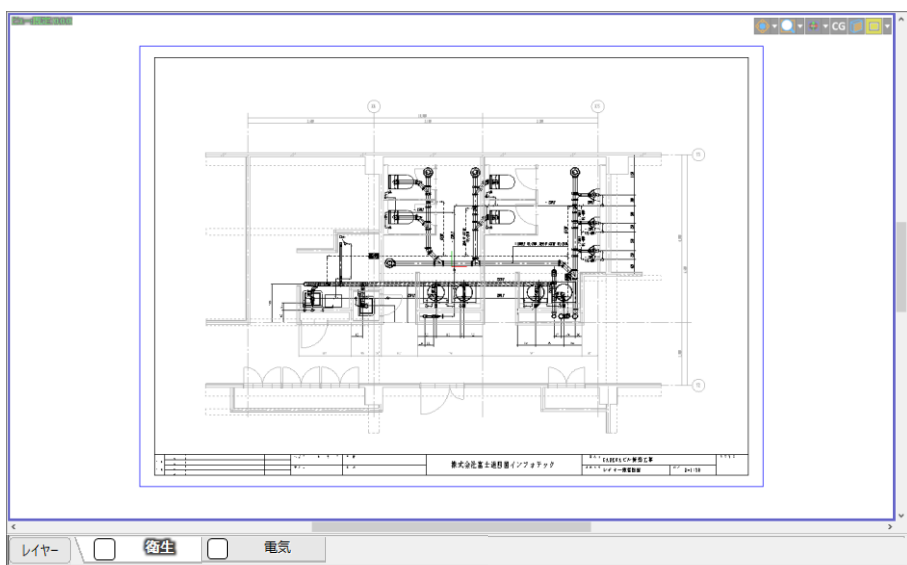
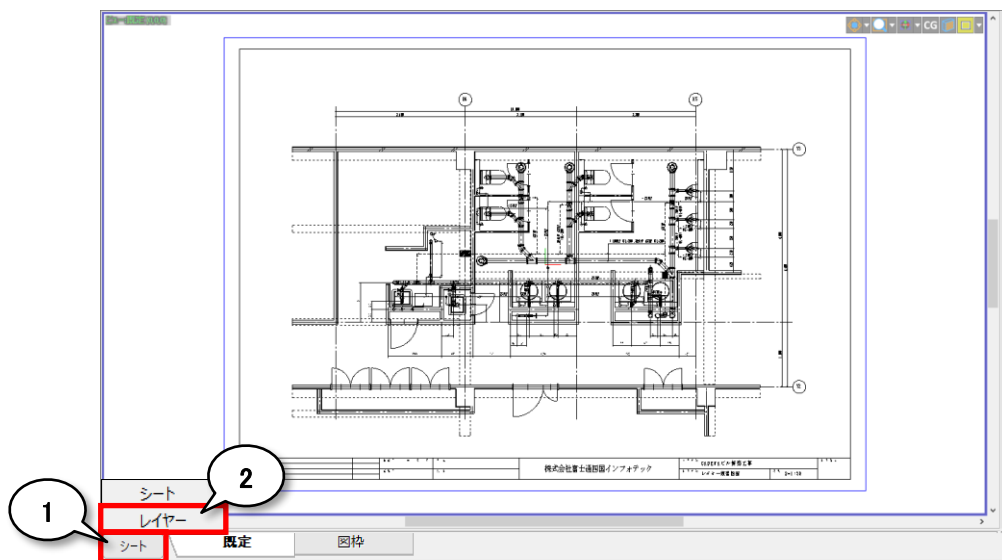


レイヤーシート名「電気」を入力します。建築設備「表示のみ」、電気設備「表示&検出」、衛生設備「表示しない」に変更し、OKします。

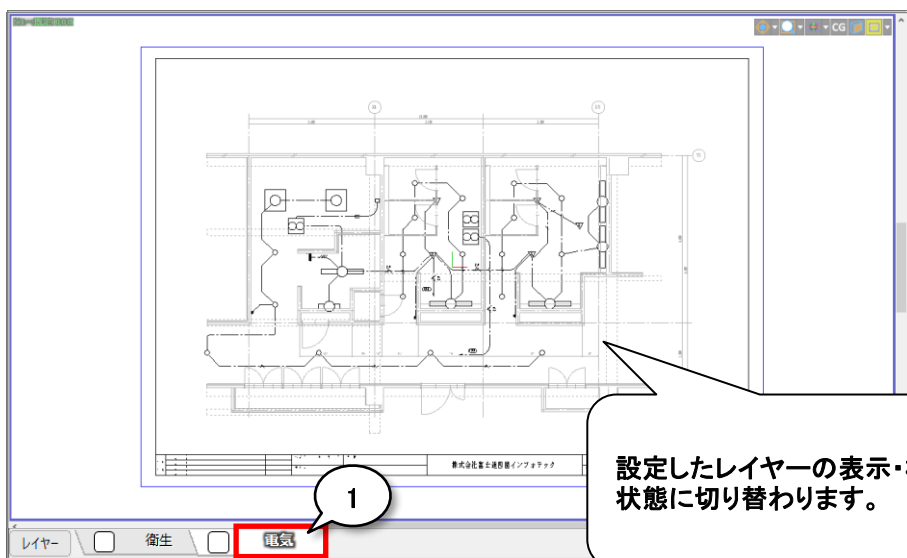


➤ レイヤーシートの切替

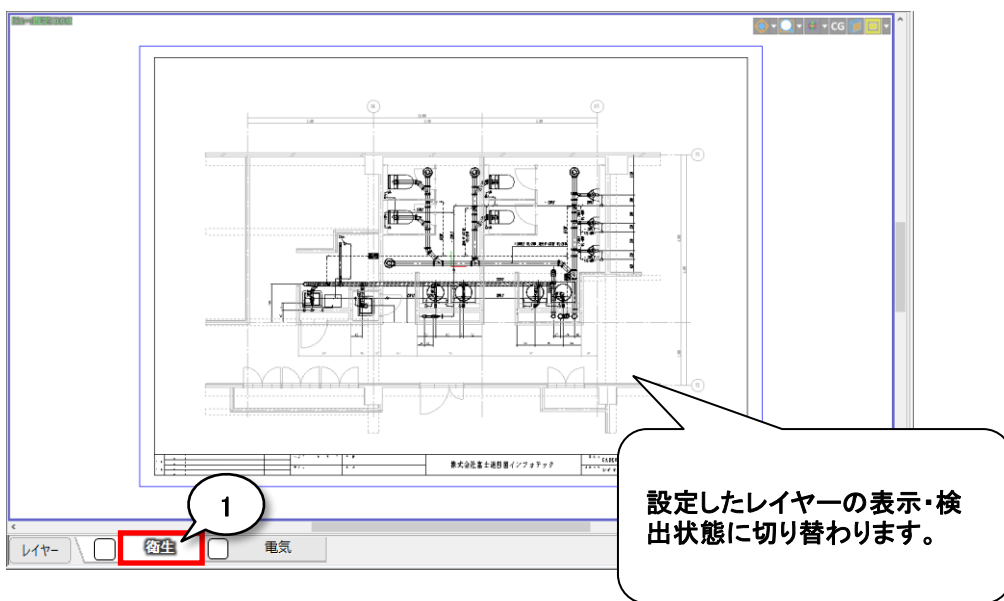
登録したレイヤーシートへ表示を切り替えます。「シート」をクリックし、「レイヤー」へ変更します。



レイヤーシート名「電気」をクリックします。



レイヤーシート名「衛生」をクリックします。



➤ 非カレントレイヤーシートの一時表示

非カレントレイヤーシートのオブジェクトを表示します。
「電気」のチェックボックスをONにします。

